部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	給水係

会	計	款	項	目	事業	予算事業名
		01	01	02	1	営業費用 配水及び給水費(補助金)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	400千円	500千円	1,400千円	0千円
総人件費	760千円	743千円	743千円	
総事業コスト	1,160千円	1,243千円	2,143千円	

													,		,	
事務事業名	01 鉛給水管交換工事費支援対策事業	指標名					I	指標種別	-			.				
 戦略プラン	- - -	目標値	H26年度 直 -	H27年度 -	H28年度 -	H29	9年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -	_ 指標の概 -	:安 -				
		実績	-	-	-											
総合戦略				H27年度	·		1	H2	8年度		その他の打	旨標 -				
		改 善 目				改善	ļ									
		目標				目標					事業実施コスト	恒 H26	6年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
個別計画	-										事業費(A)	400千円	500千円	1,400千円	0千円
		事	が、一方でなって、	ι∟÷₩⋾た₩ ⋄	机体业等六格工事	事	年度早期	朝に,本事業の[目的・しくみ等に [・]	ついてわかりや	国庫支出	出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	水道法		道水の安全性を向 成制度を地区の回			計画	す〈お知 図る。	らせ文書等を作	成し,地区の回	覧版にて周知を	県支出	金	0千円	0千円	0千円	0千円
											内 地方(責	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	E 補助金·負担金事業										その他特	寺財	0千円	0千円	0千円	0千円
						上					一般財	源	400千円	500千円	1,400千円	0千円
執行体制	職員のみ 	王J っヾ	:度早期(7月)に,2 :流れについて 地に	本事業の目的,助 ▼(宝陽台)の回り	カ成制度のしくみ及 暫によりお知らせ	半期活					人件費(760千円	743千円	743千円	
		実し文	書にて周知した。	区(宝陽台)の回覧によりお知らせ	動					正割1	会	0.10人	0.10人	0.10人		
事業	X管解消の助成を行うことにより, 一層安全									内質時間]外 務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
の目が水の)供給を図るため。					-					臨時職員		無	無	無	
<u>п</u> у		成財]成申請:4件]成金交付:5件			上半期					事業コス (A + B		,160千円	1,243千円	2,143千円	
			内1件は,前年度に もの。	こ甲請かめり今年	‡度に⊥事元∫∪	期成果					H					
事											29 年 度					
業給水物の交換	装置の所有者等自らが行う,鉛給水管解消 製工事費用の2分の1に相当する額を,10	1 1 1 1 1 1 1	おおい管交換工事の おおいいかはなるを)実施には,20~ 美型いても担当	~ 40万円程度の酮	訓課題					当 初 -					
概 万円を	限度に助成する。	超 /六	17い年ルウ助成金で	左ういしてが出った	朗の其担になる。	超					積					
			業の 達成	目標の 進捗状況	-		<u>」</u> 事業の き捗状況	-	目標の 進捗状況	-	根拠					
- -				成果が得られて			有効性	-	~J/ 1/1/10	<u> </u>						
ISO 14001 関環 連境		評価	効率性 中:適切な	 :費用対効果が得	导られている	評価	効率性	-			H29年度 の方向性	-	理由 -			
性境		総	診合評価 B∶成果·費	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施	5	総合評価	価 -								

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
	01	01	02	,	営業費用 配水及び給水費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	0千円	0千円	68千円	0千円
総人件費	1,519千円	1,486千円	1,486千円	
総事業コスト	1,519千円	1,486千円	1,554千円	

													,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,	
事務事業名	01 貯水槽水道点検調査事業	指標					- -	指標種別	-			(I				
 戦略プラン	- - -	目標	H26年度 値 -	H27年度 -	H28年度 -	H29	9年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -		信標の概要	-			
	- - -	実績	<u> </u>	-	-											
総合戦略		74-		H27年度		74-	T	H2	8年度		7	の他の指標	-			
		改				改善日	-									
		標				目標						事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
個別計画	-											事業費(A)	0千円	0千円	68千円	0千円
		事 ⁻ 	平成27年度において ト調査を実施するとの 対する。貯水槽水道の	は,100件を対象 ともに,無料点検	はに管理状況アンな は調査についても第	事業	年度早期で、事業	期に対象の貯水 の目的等がわれ 関するアンケート 置者の希望による	槽設置者100者 いるお知らせ文詞 なごなける マン・	経程度を抽出し 書と貯水槽水道		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	水道法	計画者	内する。貯水槽水道(皆又は管理者に指導	の管理に問題が ・助言を行なう。	ある場合は,設置	計画	官埋に 及び設置 指道・助	関するアンケート 置者の希望による I言をする。	を送付し,アンク る立会点検結果	アート調査回答 に対して必要な		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
							110-3-10	, L C / U			訳_	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事業											その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ) 注 B:	ウ水増水送処署老か	に01老を姉中1	. 贮水槽占垛厂!	上半期						一般財源	0千円	0千円	68千円	0千円
ניווידין ניוויקד	11W 5-2 0 7 0 7	動 す	するお知らせ文書(ア	Nら94者を抽出し,貯水槽点検に関 ソンケート調査含む)を8月に送付 び希望者を対象に現地立会点検を	洋	-	-				、件費(B) ↓ 従事	1,519千円	1,486千円	1,486千円		
事一時水料	曹(受水槽)式の水道使用者(マンション居住	績	実施した。	JEWO IN ELICHAMICAL COMMO		実					内間	E割合 部合 時間外	0.20人	0.20人	0.20人	
┃業 者等) ┃の 貯水料	が,安心で安全な水の供給を受けるための 曹水道点検調査を実施し,設置者に対して								訳	勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
	詰果を伝え , 適正な貯水槽水道管理を図る		アンケート結果(回答 巴握することができた		貯水槽管理状況を							臨時職員等 事業コスト			***	
		成 ·	現地立会点検(6者 管理のための指導·B)を実施したこと [.] 功言ができた。		六刀	-					(A + B)	1,519千円	1,486千円	1,554千円	
		亩	アンケート回答者に 分置者が含まれる。	には適正に点検領	管理を行っている	成果					H 29					
業 び管理 の 実施し 概 に , 実	書設置者に対して,点検調査義務の周知及 里状況アンケ-ト調査を実施する。また,市で ルている無料点検調査の案内をするととも 施した点検調査結果に問題がある場合 計置者又は管理者に指導・助言を行なう。	│ 課 │a	6知らせ文書送付数 会点検希望者数が少	に対し,アンケー ない。	-ト回答者数及びご	江課題					年度当初積算根	-				
			業の 造状況 達成	目標の 進捗状況	-		事業の 進捗状況	-	目標の 進捗状況	-	拠					
-			有効性 中:適切な	成果が得られて	เเอ		有効性	-								
ISO 14001 関環 連境	-	評 [] 価 [_	効率性 中:適切な	費用対効果が得	ーーー 得られている	評価	効率性	-				9年度	理由 -			
性境		4	総合評価 B:成果·費	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施	į	総合評	価 -								

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
	01	01	02	1	営業費用 配水及び給水費(委託料)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	13,472千円	20,567千円	26,244千円	0千円
総人件費	35,688千円	27,539千円	20,111千円	
総事業コスト	49,160千円	48,106千円	46,355千円	

													•			
事務事業名	01 給水台帳デ-タ構築事業	指標名						指標種別	-							
		 目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指 	標の概要	-			
戦略プラン	- - -	ᄓᆥᆒ	-	-	-		-	-	-	-						
		実績	-	-	-											
総合戦略	- - -			H27年度			T	H2	8年度		その.	つ他の指標	-			
		改 善 -				善	みでの	確認を心掛けるる	たは提供にあたことや , 印刷時に	図面の縮尺を						
		目				目標	使い分 使用量	ナる等 , 本システ を削減する。	ムの性能を有効	かに活用し,紙の		事業実施 コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
個別計画	-										事	:業費(A)	5,724千円	11,880千円	17,378千円	0千円
		事 工事	事が完了している約 そデータル及び殺さ	給水装置工事情 路地図データのi	報等(4,000件)の 更新を実施し,最	事業	年度の	半ばに一般競争 水準署丁事情報	入札にて委託契 (約5,200件)の電	!約を締結し,未 『子データ化と	[3	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	つ〈ば市水道給水条例	未 毛 計 新 画 る。	青報が閲覧可能な	給水台帳管理シ	ステムを構築す	計	地図情:	が改量工事情報 報データの更新で タを最新情報にで	を実施し,給水台	は		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
									•		内 訳 _	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事業										-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
±5 /二 /★ /生』	如表記				, <u></u> , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	上半						一般財源	5,724千円	11,880千円	17,378千円	0千円
執行体制	一部委託	活 一般	股競争入札にて9/ K装置工事情報4, ニデータ/VL:ehm3	月に委託契約を締結し、未登録の 333件を既存の給水台帳システム		期活	半				人 一	.件費(B)	1,519千円	2,229千円	2,229千円	
-		実 用 績 必	用にデータ化し追加登録した。また,その他地図情報等 必要なシステムデータを更新した。		∥実│				正職	後事 割合 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0.20人	0.30人	0.30人			
┃ 素 を電子	^ら工事完成までの給水装置に関する情報 ・デ-タ化することにより、わかりやすく正確				績					訳	時間外	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
	システムによる情報提供及び給水装置に 問合せ等の対応を迅速に行うため。					上	上				臨時職員等 『業コスト		無 ————	無		
		成に対して	K装置に関する情 対してより最新の情	報が更新された 情報提供 , 問合も	ことで情報閲覧者 #等に対してより迅	半期	-					(A + B)	7,243千円	14,109千円	19,607千円	
			な対応が可能となっ	った。		成果					H 29					
事 従来の 業 図書, の 用に地 要 く。)紙ベ-スによる台帳図,給水装置工事完成 地番図,市販地図等を基に台帳システム 理情報,各種文字属性情報を加えて電子 とし,給水台帳管理システムを構築してい	課 次原題 紙道	資料による情報管	理となる。 	しては , 完成図等	題	-				年度当初積算根	-				
		事業進捗		目標の 進捗状況	-		事業の 生捗状況	-	目標の 進捗状況	-	拠	<u>L</u> ,				
	天然資源の枯渇防止	有	i効性 中:適切な	成果が得られて	เเอ	±	有効性	± -			,,,,,,	/T F7				
ISO 14001 関環 連境	合水台帳をデータ化することで,紙の使用 量を削減する。	"	」率性 中:適切な			▮∰	効率性					9年度 - 5向性 -	理由 -			
性光	E - 1,111.W / G	総	台評価 B∶成果·費	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施		総合評	(曲 -								

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
	01	01	02	1	営業費用 配水及び給水費(委託料)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	13,472千円	20,567千円	26,244千円	0千円
総人件費	35,688千円	27,539千円	20,111千円	
総事業コスト	49,160千円	48,106千円	46,355千円	

	·					-	1						-,		3,333 1 1 2	
事務事業名 02 給水装置	置工事設計審査申請に関する	指標					- -	指標種別				. I.W INT. TT.				
戦略プラン		目標	H26年度 値 -	H27年度 - -	H28年度 -	H29	9年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -	」 指 -	に標の概要	-			
		実績	責 -	-	-											
総合戦略			•	H27年度				H2	28年度		その	の他の指標	-			
		改善法	滞りな〈水道供給 <i>た</i> ハ給水装置工事申	が図れるよう,引き; 請に対しては,受	続き特に問題のな 付後6日以内を目	改善目標										
		目標	途に工事の承認を	する。		標						事業実施 コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
個別計画 -											事	事業費(A)	7,748千円	8,687千円	8,866千円	0千円
		事 j. 業 2	近年の実績より, 約 2割程度増加する。	合水装置工事申請 ことが予想されるこ	件数が前年度比で とから,より効率的	事	近年の記るが、本	実績並みの給水 事務に携わる(《装置工事申請作 従事者が減になる 率化のための連	件数が予想されることから委託		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等つくば市給え	K条例	計	に対処していく。ま 様に対処する。	た、その他の関連	事務に関しても同	計画	ていく。 き	また、その他関ラ	率化のための理 連の事務に関し [.]	携を図り対処し ても同様に対処		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
							していく。	,			内 訳 _	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類 С 義務的	業業										1 7	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
						上						一般財源	7,748千円	8,687千円	8,866千円	0千円
執行体制 一部委託 		活動	年間で約2,600件の員・臨時職員との過	給水装置工事申 関係を図り厳正かっ	請に対して,委託 O迅速に設計審査	半期活動					人	、件費(B)	34,169千円	25,310千円	17,882千円	
			寺を行い,水迫使/ 装置工事の承認か		供給が図れる給水 るまで実施した。	 動実績					正明	従事 E割合	4.50人	3.40人	2.40人	
事 給水装置工事申請 業 発行 納付確認及	の審査,水道加入金等納付書 び給水装置工事承認書発行等										内	時間外 勤務	0.00時間	20.00時間	20.00時間	
日 日 対して水道水の供	迅速に実施し、滞りなく市民に					-						臨時職員等 	無	有	有	
п9		成	事務を分担し効率 審査から完成検査	的に遂行したこと等 まで滞ることなく円	等により,工事申請]滑な水道水の供約	計●半	-					事業コスト (A + B)	41,917千円	33,997千円	26,748千円	
			ができた。			成果					H 29					
事 給水可能証明書発	行,給水装置工事設計審査。		U R·茨城県の開発	地区事業が継続	中であり会後も名						年度当					
不 承認,加入金徴収 本 本 水表徴収 工事検査,給水装 水装置工事に関連	行,給水装置工事設計審査・ ,国・県道道路占用許可申請, 置工事事業者指定,その他給 する事務全般を行なう。	課題が	数の工事申請が想が必要となる。	定されることから	,より事務の効率化	課題	-				I初積算					
			i業の 造状況 達所	せん 目標の 進捗状況	達成		 事業の 進捗状況		目標の 進捗状況	-	根拠					
			有効性 中:適切	 な成果が得られて	こいる		有効性	-								
ISO 14001 関環 連境 性		評価	効率性 中:適切	は費用対効果が行	导られている	評価	効率性	-				9年度 - 5向性	理由 -			
性境		2	総合評価 B:成果・	 費用対効果の向上	に努めつつ継続実施		総合評	西 -								

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	料金係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
,	01	01	03	-	営業費用 業務費(委託料)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	98,820千円	128,952千円	128,952千円	0千円
総人件費	9,826千円	7,223千円	9,844千円	
総事業コスト	108,646千円	136,175千円	138,796千円	

	指標	名 収納率	*					指標種別	成果指標				1			
金徴収業務委託事業			26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	扎	指標の概要	 水道料金の	5年度毎の収	納率	
	目標的	值 99	9.88%	99.88%	99.88%	99	.88%	99.88%	99.88%	99.88%						
	実績	99	9.88%	98.52%	-	/										
			Н	27年度	_		1	H2	28年度		そ	の他の指標	-			
	改 善 善					改善	市民要望 各課への	型に対する敏速 発発引継方法	かつ適切な対応 の目すし変更を	図るため,関係 平成28年度内						
	│ 目 │ 標 │					目標	に実施す	- る。		1702 0 11213		事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
											Į	事業費(A)	98,820千円	128,952千円	128,952千円	0千円
	事工	^Z 成27年度	ま 末予想水道	直料金調定金額	i(税込):3,813,955	事	₩ 	ケヰヲ゚ゔゕ゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゚ゕ゚゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゙	기소웨다현(자기	.).0 500 504		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
例	計計	円(見込)		_,,,	,,,,,,	計	千成 2 8 3 千円 (見:	中皮少异水坦* 込)	斗壶調正額(稅火	<u>S)</u> : 3 , 599 , 501		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
							-				$\ \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
						上半						一般財源	98,820千円	128,952千円	128,952千円	0千円
	∥動╚	Z 成27年度 Z 成27年度	要水道料金詞 要水道料金詞	〖料金調定金額(税込)∶3,588,340,916円 〖料金未納額(税込)∶53,276,822円(平成									9,826千円	7,223千円	9,844千円	
	美 2	8年4月25日現在)			∥動∥						<u> </u>	1.25人	0.90人	1.25人		
8を民間委託することによ						續 						員 時間外 勤務	123.00時間	201.00時間	209.00時間	
を図るため。			- IAAI 11	> 4/21 A /11/L 1177) + 0 W 75 +	 							無	無	無	
	∥成□	Ε確かつ適	がい実施す	することにより , 6	建全な水道事業の	六刀	-					事業 J 人 ↑ (A + B) - T	108,646千円	136,175千円	138,796千円	
			2CC01C3	E & STILL 9		成果					H 29					
- で/ しが00001A 1A		業務量の	増加により	, 市民要望に対	する敏速な対応						年度	= -				
管理 , その他上下水道料	題	が要となって 収納率の	ている。 向上のため	の給水停止執行		課題	-				初 積	」				
							 事業の	_	目標の	<u> </u>	▋根	艮				
	進技	状況		進捗状況	-		技状况 T	-	進捗状況	-	1/2					
	 <u> </u>	有効性中:適切な成果が得られている				評							III ch			
	∥╨⊢					価							连出 -			
	孫を民間委託することによった図るため。 はる受付, 水道開閉栓, 検 でででででである。	A	実績 9 改善目標 事業計画 平千 平元 平元 平元 平元 平元 平元 平元	実績 99.88% H	実績 99.88% 98.52% H27年度 改善目標 中:適切な農田の向上のための給水停止執行 フラインであることの均衡を図ること。 事業の 達成 目標の 連捗状況 有効性 中:適切な農用対効果が得 1.3 で	実績 99.88% 98.52% - H27年度 改善	実績 99.88% 98.52% -	要績 99.88% 98.52% - 日27年度	実績 99.88% 98.52% -	現場 199.88% 98.52% 198.52% 199.88% 198.52% 199.88% 198.52% 199.88% 198.52% 199.88%	大道大・ターの検針から料金徴収までの一連の業務を成立に取かっ造切に実施するととによるととした。 1.	実験 99.88% 98.52% 127年度 129年度 129年度	128年度 128年度 20 128年度 20 20 20 20 20 20 20 2	1/2 1/	大型	大きな 1/20年度 1/

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	料金係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
	01	01	03	1	営業費用 業務費(修繕料)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	63,622千円	67,944千円	58,914千円	0千円
総人件費	9,826千円	6,935千円	9,844千円	
総事業コスト	73,448千円	74,879千円	68,758千円	

				指標	ラク マルン	ちょり かね	*h				七插纸贝								
事務	事業名	01 水道	道メ-タ-検満修理·引換事業	扫信		道メ-タ-交換 H26年度	致 H27年度	H28年度	Lo	9年度	指標種別 H30年度	」 成果指標	H32年度	┨.	指標の概要		間満了に伴い	年度内に交換	した水道メ-
 戦略	プラン			目標			14,174個	8,845個		15個	12,426個	13,284個	12,738個	- 1	旧信の概安	タ-の交換数			
				実組	沙主	40.057/田	14,095個	5,6 1612				10,201	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	+					
	-	- -		一夫 統	供	12,257個 14,095個 - H27年度 H28年度								1					
総合	戦略	- -		改		74								の他の指標	-				
		- -	- -	善 .	_				善善	メーター 示書「水	交換困難箇所 ば道メーター設置	に対し書面により 3周辺部(給水管	改善を求める指)の環境改善指						
		·		標					目標	示書」様	式を平成28年	度内に作成する	0		事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
個別	計画	-												Ī	事業費(A)	63,622千円	67,944千円	58,914千円	0千円
				事					事						国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拗>	去令等	计量法		計	平成27年 間満了ま	成27年度の交換予定個数は14,174個で,検定期 満了までに交換を実施する。			計	平成28年度の交換予定個数は8,845個で,検定期間流 了までに交換を実施する。					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ישנאוי	445	11 至 / 4		画					画					内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業	分類	C 義系								-					その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
									上半						一般財源	44,224千円	67,944千円	58,914千円	0千円
執行	体制	全て委	託	活動	建物解体	建物解体等に伴い交換対象箇所に減が生じたため,1 ,095個の水道メーター交換を実施した。			半期活						人件費(B)	9,826千円	6,935千円	9,844千円	
									温動						従事 正 割合	1.25人	0.90人	1.25人	
事業	·法定核	龍宝	間(8年)を満了前に新しい水道メ-タ						績					内訳	職 時間外 勤務	123.00時間	93.00時間	209.00時間	
の	- に交換 を目的。	負し,正	確な検針と料金請求に資すること							-				4	臨時職員等	無	無	有	
的				成	正確な検	:針と水道水(の安定供給を確	保するとともに,糸	上半期					-	事業コスト (A + B)	73,448千円	74,879千円	68,758千円	
				果	営の安定	化に貢献す	ることができた。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- 期 成 果	∥ 成 │					1	•			
									*	-				29					
事業	法定检'	定期問	満了に伴う水道メ-タ-交換業務		使用者	財産であるメ	ノーター周辺の給	水管の老朽化等						年度当初	· 麦 当				
の	平成27	年度交	換対象となっている14,174個の 検定期間満了前に交換する。	題	め、使用	者に早急にイ	が非常に困難な 修繕してもらえる	ケースがあるた よう, 再三の連絡	課題	-				初日					
要	<i>□</i> 、/=/`¯	, e1:	ע ל צוע אוים ויפוויפיטיע	33	努力が必	要である。								第	算				
					事業の 捗状況	達成	目標の 進捗状況	-		事業の 進捗状況		目標の 進捗状況		換					
	- -				有効性	中:適切な	:成果が得られて	เาอ		有効性	<u> </u>								
ISO 14001	関環		評価	評 効率性 中:適切な費用対効果が得られている 評 価								29年度 - 方向性	理由 -						
	ISO 4001 関環 連境 -				総合評価	B∶成果·費	用対効果の向上は	こ努めつつ継続実施	Đ.	総合評価	(西 -								

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道業務課	料金係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
,	01	01	03	,	営業費用 業務費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	19千円	701千円	82千円	0千円
総人件費	3,944千円	1,583千円	3,811千円	
総事業コスト	3,963千円	2,284千円	3,893千円	

事務事業名	3 01 上水道加入促進事業	指標名 水道普及率						指標種別 成果指標									
ずが子来口の「土水戸加入保煙ず来			Н	H26年度 H27年度 H28年度				年度	H30年度			指	[標の概要	つ〈ば市の常住人口に対する給水人口の割合			
戦略プラン		目標	票値	82.2%	83.32%	83.34%	83,36%		83.38%	83.40%	83.42%						
		実	績	84.6%	86.07%	-											
総合戦略				H27年度 H28年度						 そ(の他の指標	-					
		改善目	_					改 改善 本年度の実施時には,部内での協力を呼びかけ,更な									
		目標					┃ 目 ┃る効率 ┃ 標 ┃	5 X) 平 11	5効率化を図る。 -				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
個別計画	-) +5 (5 ±0	事	事業費(A)	19千円	701千円	82千円	0千円	
		事	「まつり゛	毎年6月の「水道週間」に,加入推進の市報掲載。「まつりつくば」イベント事業に参加し,水道水の試飲の実施,水道加入促進並びに水資源啓発事業の展別及び市民の動向を調査するなどの啓発活動を実施。地元要望による地区説明会を実施。			事	実施,水道加入推進並びに水資源啓発事業の展開および市民の動向を調査するなどの啓発活動を実施する。				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
根拠法令等	 	∥計 開及	開及び市民				計					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
			普及促注	普及促進を図るため水道水のペットボトルを作成。			内				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類	B 任意的事業(小規模)											╢┟	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
++ /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /- /-	Tith El o 7.	活	毎年6月	毎年6月の「水道週間」に加入推進の市報掲載した。 「まつりつ〈ば」イベント事業に参加し,水道水の試飲			上半					一般財源	19千円	701千円	82千円	0千円	
執行体制	執行体制 職員のみ 		実施,水道 び市民の動	施,水道加入推進並びに水資源啓発事業の展開およ 市民の動向を調査するなどの啓発活動を実施した。		│ │期 │活 -	_			<u>ا</u>	人件費(B)	3,944千円	1,583千円	3,811千円			
		■ 養 地 ■ 績 普	地元要望 普及促证	地元要望による地区説明会を7回実施した。 普及促進を図るため水道水のペットボトルを4,000本		動実				工具	近事 王 割合	0.50人	0.20人	0.50人			
	道に対する理解を深め,市民が健康で快適		作製した。			績				内影	時間外勤務	54.00時間	36.00時間	36.00時間			
の な生活 目 水道/ 的	舌を送れることができるよう安全·安心な上 \の早期接続を推進するため。						上						臨時職員等	無	無	無	
13		成果	成 上水道の普及率の向上を図ることができた。			ごきた。	上半期	-	-				事業コスト (A + B)	3,963千円	2,284千円	3,893千円	
						成果		H 29									
	毎年全国規模で開催される「水道週間」を中心 事 に,市民へ上水道の理解を深めてもらう。また,										年度	:					
# 年間を通 の や情報の 概 を図る。 要 利き水等	通じてホ-ムペ-ジによる上水道の安全性 その発信を行い、今後の上水道普及の促進。更に、イベント事業に参加しアンケ-トや 等の啓発活動を展開するとともに、地元要	題なっ	部内での なっている	内での協力体制や,更なる効率的な対応が課題と っている。		課題	-			当初積算	-						
望による説明会等へ参加する。			事業の 捗状況	達成	目標の 進捗状況	-		<u>l</u> 事業の 態捗状況	-	目標の 進捗状況	-	┃ 根 ┃ 拠					
-	-			中:適切な	成果が得られて	Na		有効性	-		•						
ISO 14001 関環 連境		評価	効率性	中:適切な	費用対効果が得	られている	評価	効率性	<u> - </u>				29年度 方向性	理由 -			
性境性	性境			F価 B:成果·費用対効果の向上に努めつつ継続実施		4/2 191	総合評値	価 -									